

2025 年度（2024 年度募集） 第 2 クォータープログラム募集要項（共通）

【国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部】

1. 趣旨	<p>必修科目が配置されない国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部の 2 年次第 2 クォーター期間において、海外に渡航し、留学先大学が提供する科目授業や初習外国語の学習プログラム等を受講して、教養・専門・外国語の知識を身につけます。また、異なる文化や環境のもとでの生活を通じ、豊かな国際感覚を身につけます。</p>
2. 応募要件	<p>【全学年共通】 ○PE に合格していること。（後期取得見込みを含む） ○各プログラムで定められている語学力等の応募要件を満たしていること。</p> <p>【2 年次の参加の場合】 出発時に本学の国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部 2 年次に在籍している学生で、留学先の大学等で教育を受けるのに十分な能力と適性のある者。</p> <p>【3・4 年次の参加の場合】 出発時に本学の国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、国際総合科学部の 3 年次または 4 年次に在籍している学生で、留学先の大学等で教育を受けるのに十分な能力と適性のある者。ただし、参加可能なプログラムは、<u>前期補講期間（前期後半科目の最終週：8/1-8/7）を渡航日とするプログラムに限定し、担当教員から許可を得たうえで</u>の参加を必須とします。（詳細は「10.配慮申請について」をご確認ください。）</p> <p>※注意※ 航空券の手配は今後参加者が確定した時点で行いますので、現時点で正確な日本出国日は不明です。<u>プログラム開始の 2 日前を“渡航日”</u>として上記内容を確認してください。</p>
3. 期間	<p>【2 年次の参加の場合】 2025 年 6 月 13 日から 8 月 7 日に渡航し、9 月 21 日までに帰国するプログラム</p> <p>【3・4 年次の参加の場合】 2025 年 8 月 1 日から 8 月 7 日に渡航し、9 月 21 日までに帰国するプログラム</p>
4. 留学先大学・費用	<p>HP のプログラム一覧及び各プログラムの要項を参照してください。</p>
5. 併願について	<p>（1）本プログラム、交換留学、 Semester 留学との併願</p> <p>複数の第 2 クォータープログラムへの応募はできません。また、本学の長期留学プログラムによる渡航が既に決定している場合は、原則併願できません。</p> <p>（2）海外インターンシップ等との併願</p> <p>渡航日も含め、日程の重複がない場合は併願可能とします。ただし、ビザ等の取得にかなりの時間を要することなどを十分に検討の上、申し込んでください。申し込み後に本プログラムに参加できなくなった場合はキャンセル料は自己負担となります。</p>

<p>6. 海外旅行保険</p>	<p>海外旅行保険等については、危機管理上、一律以下の保険に加入します。</p> <p>(1) 学生教育研究災害傷害保険(略称)学研災：最大 3,300 円(4年間)</p> <p>(2) 大学の指定する海外旅行保険：31 日で 8,220 円 *目安</p> <p>(3) トータルアシスタンスサービス(24 時間体制の海外危機管理)：73 円/日×渡航日数 *目安</p>
<p>7. 経済的支援 (※調整中)</p>	<p>予算の範囲内で横浜市立大学による補助金と、後援会による助成金(後援会加入者のみ)が支給される可能性があります。補助金、助成金とも原則出国前に支給します。</p> <p>補助金額(予定)</p> <p>A コース、D コース：4 万円</p> <p>B コース、C コース：3 万円</p> <p>※後援会加入者については、助成金として同額が支給される予定です。 ※予算は今後決定されること、また、支援対象者数により、上記金額から減額した支給額となる可能性があることを留意してください。</p> <p>【重要】 補助金/助成金の支給は、以下要件を満たすことを条件とします。</p> <p>(1) オリエンテーションや危機管理セミナーなど、大学が指定する研修・セミナーに参加すること</p> <p>(2) 渡航前・渡航後の大学が指定する提出書類を遅滞なく提出すること</p> <p>(3) 海外留学プログラム関係の広報など本学の広報に積極的に協力すること</p>
<p>8. 単位認定 (※調整中)</p>	<p>本プログラムに参加した場合に認定される可能性がある単位については、別表「認定単位一覧」をご確認ください。</p> <p>(1) 単位認定の申請方法 帰国後、提出書類および提出方法についてメールで連絡します。修了書や成績証明書、その他講義で使用した書類については破棄せずに保管してください。</p> <p>(2) 補足事項</p> <p>○ A コース：カスタマイズプログラム/おすすめプログラム</p> <p>【国際商学部】 ビクトリア大学 International Institute for Business Management ⇒所属学部によって認定される単位が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 国際商学部学生が受講した場合：専門科目 中期海外留学(4単位) ▪ それ以外の学部学生が受講した場合：共通教養科目 中期海外留学(4単位) <p>○ C コース：初習外国語語学研修プログラム</p> <p>⇒プログラムを良好に修了して必要書類を揃え、かつ、十分な語学能力を修得したと認められる場合は、他大学単位認定、飛び級履修が認められる可能性があります。希望する場合、応募時にグローバル推進室及び教務担当に相談してください。</p>

さい。また、飛び級履修については、後期開始前に行われる飛び級履修相談会に参加して担当教員の認定を受ける必要があります。

○ D コース : 海外大学の学部授業 / サマースクール

⇒ 留学先で取得した単位について、授業時間数と内容に応じて以下から決定

▪ 授業時間数が 22.5 時間以上 45 時間未満 の場合

共通教養科目 「特別講座 (留学科目)」 (2 単位)

又は専門科目 「特講 (留学科目)」 (2 単位)

又は他大学単位認定※

▪ 授業時間数が 45 時間以上 の場合

共通教養科目 「中期海外留学」 (4 単位)

又は専門科目 「中期海外留学 (〇〇) 学部」 (4 単位)

又は他大学単位認定※

※他大学単位認定

学修内容が教育的に有益であり、かつ本学の開講科目と一致すると認められた科目は、**本学の開講科目に読み替え**て卒業要件を満たす単位として認定される場合があります。

申請方法などの詳細は、対象者に別途ご案内致します。

(3) 科目名称について

以下の名称の科目は令和 7 年度新設予定です。

・ 共通教養科目「中期海外研修」(旧名称「2Q 海外語学研修」)

・ 共通教養科目「中期海外留学」(旧名称「2Q 海外留学」)

・ 専門科目「中期海外留学 (〇〇学部)」(旧名称「〇〇 2Q 海外留学」) ※

※〇〇内は所属学部名が入ります。

旧名称の科目について既に単位認定されている場合、その科目と対応する新設科目の単位認定を申請することはできません。

<p>9. 前期履修について</p>	<p>【対象：2年次生のみ】 本プログラムに参加する学生は、<u>渡航期間に重複する授業の履修登録は認めません</u>。以下の点を留意してください。</p> <p>(1) 6/13～7/31 に渡航する場合、前期通期科目と前期後半科目の履修登録は認めません。万が一誤って履修登録を行ったとしても、不合格扱いとします。</p> <p>(2) 前期通年科目の補講期間（前期後半科目の最終週：8/1-8/7）の渡航は、教員の許可があれば認めます。その場合、事前に教員に相談し、後日教員への配慮依頼文を作成し提出することを条件とします。（この依頼することを<u>配慮申請</u>と言います。詳細は「10.配慮申請について」をご確認ください。）</p> <p>(3) 短期集中科目の開講期間が、プログラム期間とその前後の渡航日に当たらない場合は、当該科目を履修することができるものとします。</p> <p>(4) 追試期間と重複するプログラムに参加した場合は、追試を受けることができません。</p> <p>※注意※ 航空券の手配は今後参加者が確定した時点で行いますので、現時点で正確な日本出国日は不明です。<u>プログラム開始の2日前を“渡航日”として上記内容を確認してください</u>。</p>
<p>10. 配慮申請について</p>	<p>補講期間（8/1-8/7）に渡航するプログラムに参加する場合、所属年次を問わず、科目教員の許可を得た上での参加に限り認めています。</p> <p>該当するプログラムに参加する学生は、令和7年度前期登録期間の終了直後、渡航期間に重複するすべての科目の担当教員に配慮申請を行い、渡航について許可を得てください。</p> <p><u>配慮申請</u>のすすめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学生が<u>配慮依頼文</u>を教員に提出し渡航の許可を依頼する (2) 渡航が認められた場合、教員が<u>配慮依頼文</u>に署名し学生に返却 (3) 署名された<u>配慮依頼文</u>の写しをグローバル推進室に Forms で提出 <p>詳細は HP の内容をご確認ください。</p>
<p>11. 申込方法</p>	<p>HP でご案内の申込フォームから申請してください。</p> <p>※原則、申し込み後にグローバル推進室より受付完了の連絡はしません。</p>
<p>12. 応募書類 ※全て Forms 上で データ提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) パスポート ※顔写真のページ ・スキャンした pdf データ、またはスマートフォン等のカメラで撮影した画像データ。カラー、白黒どちらでも可。 ・パスポートがない場合、パスポート申請を行い、申請時に受け取った引換証のデータを提出してください。パスポート原本を受領されましたら、3月31日までにグローバル推進室宛にメールで提出してください。4月1日以降の提出

	<p>の場合、航空券手配に遅れが生じる可能性、航空券価格が高騰する可能性があります。</p> <p>(2) 有効な語学能力試験のスコアのコピー（該当するプログラム参加者のみ） ・応募するプログラムの募集要項に語学要件が明記されている場合のみ、提出が必要です。</p> <p>(3) 健康状態確認事項 ・既往症ほか、渡航先でも服用が必要となる薬や受診の可能性がある場合、申込 Forms 内の所定設問にて必ず記載してください。</p>
13. 募集締切	2025年3月2日 23:59 必着
14. 選考	<p>原則として、プログラム参加のための選考は行いません。</p> <p>ただし、Cコース⑤国立政治大学では、コース料金の一部免除が受けられる招待枠について、応募者多数の場合に選考を実施します。詳細は国立政治大学のプログラム募集要項を参照してください。</p> <p>上記以外のコースでも、応募状況によっては、提出書類、成績等をもとにして選考が行われる可能性があります。</p>
15. オリエンテーションについて	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>日時：2025年3月18日（火）15：00～16：30 または 3月19日（水）15：00～16：30 または 3月21日（金）15：00～16：30</p> <p>実施方法：Zoom</p> <p>参加プログラムによってどの日程に参加するかが異なりますが、締切後に委託業者と調整のうえ日程をメール連絡します。応募時点で上記日時のスケジュール確保をお願いします。</p> <p>オリエンテーションは参加必須となりますので、メールを確認し必ず参加してください。</p> <p>※第2回以降のオリエンテーションについては、4月以降順次ご案内します。 ※アルバイトやサークル等、自己都合による不参加は認められません。</p>
16. 帰国後の活動	<p>帰国後は、報告書の提出や次期応募学生向けの説明会、オリエンテーション等へ参加するとともに大学プログラム経験者として広報活動に協力してください。</p>
17. その他 注意事項	<p>▪ プログラム費用</p> <p>昨今の円安基調や物価高により、航空券代をはじめとして交通費、宿舍費等が高騰しています。一方で、大学として学生の皆さんの安全性を確保するため、原則としてLCC（ローコストキャリア）の航空券や安全ではない移動方法、宿舍は利用しないこととしています。</p> <p>お申込みの前には、HPで掲載している「費用概算 算出方法」を参考に、渡航費用総額の目安について必ずご確認ください。</p>

▪ 渡航期間

本プログラムの参加者は指定された日程で出国、帰国することになります。個人の都合によりプログラム前後に追加して現地に滞在することはいかなる場合も認められません。

また、渡航期間中、寮やホームステイ先以外での外泊を伴う旅行は原則認められません。

▪ 航空券の手配

航空券については、前述の通り、乗継時間や安全性等を考慮して大学が決定し、委託業者が手配しますので、自己手配は認めません。

▪ 渡航の可否判断

本プログラムの留学決定後、もしくは渡航後でも現地治安や衛生状況の悪化その他特別の事情により、渡航もしくは滞在に問題が生ずるとグローバル推進室が判断する場合、渡航の延期、中止や現地からの退避を指示する場合があります。この場合、速やかにグローバル推進室からの指示に従ってください。またその際のキャンセル費用等は自己負担となりますことをご了承のうえ、お申し込みください。

▪ 参加の取下げについて

入金後、やむを得ずキャンセルをされる場合、旅行条件書に記載の内容に基づきキャンセル料金が発生する場合があります。旅行条件書の内容をよくご確認ください。第1回オリエンテーションにて、委託業者からキャンセルの詳細について説明します。

▪ パスポート

本プログラムに応募する学生はパスポートを可能な限り早急に取得してください。申込時にパスポートを取得していない場合、パスポート申請を行い、申請時に受け取った引換証を提出してください。また、ビザ申請や入国の際に、パスポートに十分な有効期限が求められることがあります（例：アメリカ合衆国入国の場合、少なくとも90日間の有効期限が必要）。パスポートの有効期限が1年未満となる場合、新しいパスポートに更新が必要です。

▪ 査証（ビザ）

渡航先によってはビザが必要となる場合があります。ビザについてはオリエンテーションで説明しますが、原則、自分で取得してください。大学からのサポートはありません。なお、取得が不安な場合、民間の代行取得サービスを有料で利用することも可能です。

▪ 留学先大学等への申込

本プログラムで提供するのはオープンプログラム（他大学からも申込可能なプログラム）です。応募者多数の場合、留学先大学側の都合によっては申込が受理されない可能性があります。

18. 問い合わせ	グローバル推進室 国際交流担当 電話：045-787-2027 メール：outbnd02★yokohama-cu.ac.jp (★をアットマークへ変更してください。)
-----------	--